



群馬県の財政状況

令和3年10月 群馬県総務部財政課



利根川の治水対策・首都圏の水利用の安定化のために建設された「ハッ場ダム」



群馬県のマスコット「ぐんまちゃん」

ゆるキャラグランプリ2014 第1位

目次

Section1. 県の概要、経済の状況..... 2

- 群馬県の人口と強い経済 3
- 群馬県の恵まれた自然条件 4
- 東北～九州、太平洋～日本海を結ぶ交通の結節点 5
- 群馬県に受け継がれてきた産業技術の発展 6
- 群馬県の産業構造 7
- 恵まれた立地条件を活かした産業活力の向上 8
- 群馬県の魅力あふれる観光資源 9
- 群馬のトリビア 10

Section2. 財政状況とSDGsの取り組み..... 12

- 令和3年度群馬県当初予算 13
- 令和3年度一般会計当初予算（歳入） 14
- 令和3年度一般会計当初予算（歳出・性質別） 15
- 普通会計の決算収支 16
- 普通会計決算（歳入）の推移 17
- 県税決算の推移（普通会計） 18
- 普通会計決算（歳出・性質別）の推移 19
- 公債費及び投資的経費の推移 20
- 県債新規発行額と残高の推移 21
- 減債基金への積立て 22
- 行政改革の取り組み 23
- 群馬県のSDGsの取り組み 24

Section3. 主な財政指標の状況..... 25

- 財政健全化法に基づく財政指標の推移 26
- 将来負担比率と実質公債費比率（令和元年度決算） 27
- 財政指標の推移 28
- プライマリーバランスの推移（決算ベース） 29

Section4. 公営企業・地方公社等について..... 30

- 公営企業会計の決算状況 31
- 地方三公社の決算状況（住宅供給公社） 32
- 出資法人の状況 33

Section5. 市場公募債発行計画 34

- 令和3年度市場公募債発行計画 35
- 群馬県の起債運営について 36
- お問い合わせ先 37



Section 1.

県の概要、経済の状況

- 人口規模は約200万人で中堅クラス。発達した交通網、恵まれた自然条件、長い歴史で築かれた基盤技術などで、工場立地件数は全国トップクラス
- 本州のほぼ中央、首都東京から約100kmに位置しており、アクセスの便が良い
- 多彩で多様な農業が展開され、「首都圏の台所」と呼ばれる
- 温泉、自然、歴史遺産といった魅力あふれる観光資源が人々を惹きつける



尾瀬国立公園

国民的愛唱歌「夏の思い出」で全国に名を知られる国立公園です。

群馬県の人口と強い経済



- 工場立地件数は常に全国トップクラスであり、強い経済が特徴

恵まれた立地環境、利便性の高さ、自然条件から、多くの企業が群馬県に進出しています。

工場立地件数

52件

全国 第4位

(令和2年)

	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年
1位	茨城県 77	茨城県 84	静岡県 74	静岡県 97	愛知県 77	愛知県 80	茨城県 65
2位	群馬県 61	兵庫県 73	愛知県 67	群馬県 62	群馬県 69	静岡県 78	愛知県 60
3位	静岡県 53	群馬県 57	群馬県 56	兵庫県 59	茨城県 68	茨城県 66	静岡県 54
4位	愛知県 47	静岡県 55	兵庫県 56	愛知県 51	静岡県 67	群馬県 59	群馬県 52
5位	兵庫県 47	愛知県 52	宮城県 48	茨城県 46	兵庫県 56	岐阜県 53	岐阜県 43

※製造業、ガス業、熱供給業及び電気業(水力・地熱・太陽光発電所は除く)

人口

194.2万人

全国 第18位

(令和元年10月1日)

生産年齢人口比率

58.2%

全国 第15位

(令和元年10月1日)

有効求人倍率

1.36倍

全国 第12位

(令和3年7月)

1人当たり県民所得

3,283千円

全国 第8位

(平成30年度)

製造品出荷額等

8兆9819億円

全国 第12位

(令和元年)

農業産出額

2,361億円

全国 第14位

(平成元年)

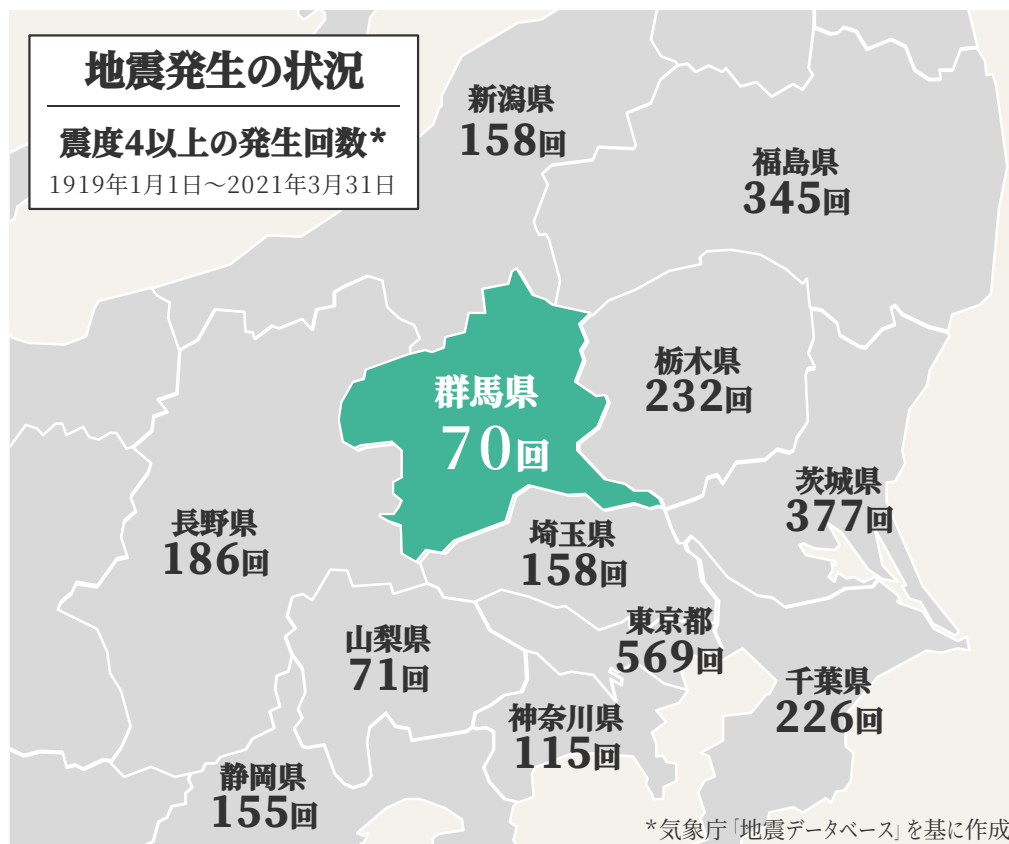
群馬県の恵まれた自然条件



- 関東一、地震が少ない
- 日照時間、年間快晴日数が全国で上位に位置するなど恵まれた気象条件を有している

地震災害のリスク

- 群馬県は、統計上、地震が比較的少なく、工場や物流拠点施設をはじめとする様々な産業施設の立地に有利な条件を備えています。

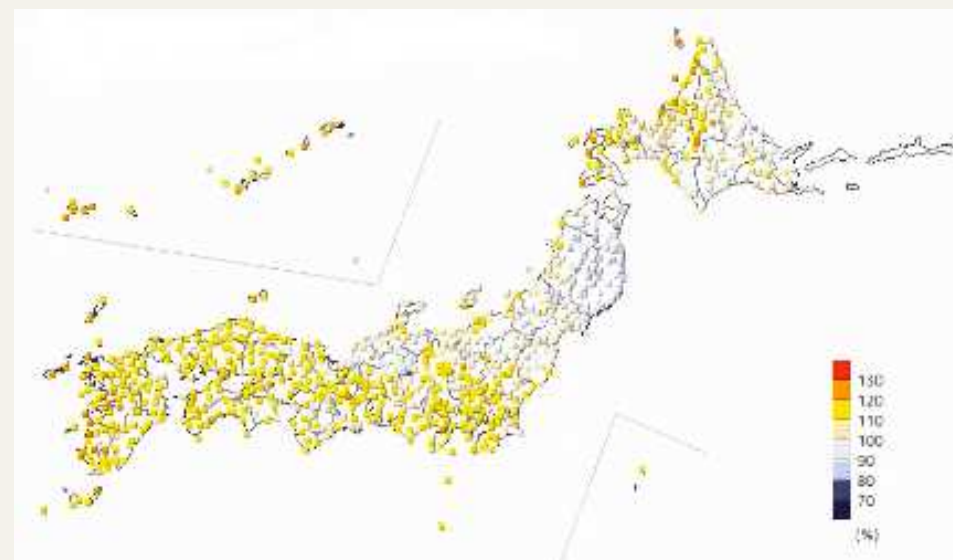


恵まれた日照時間

- 群馬県は、年間の日照時間の長さが全国第4位と上位に位置しています。降雪量も平野部では比較的少なく、恵まれた気象条件を有しています。

日照時間（年間）全国4位

1位 山梨県 2位 愛知県 3位 岐阜県 4位 群馬県



（出典）気象庁ホームページ

東北～九州、太平洋～日本海を結ぶ交通の結節点

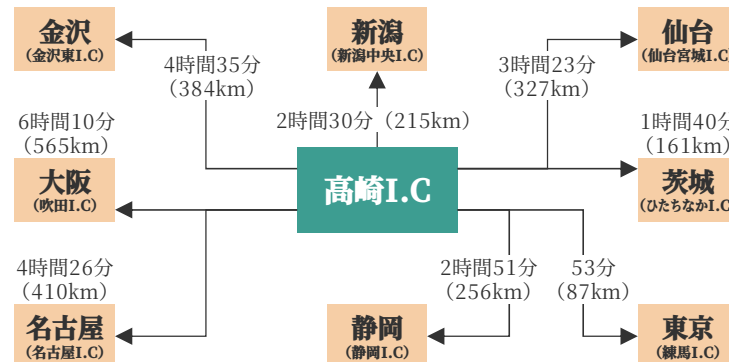


- 本州のほぼ中央、首都東京から約100kmに位置しており、アクセスが良いのが群馬県の魅力



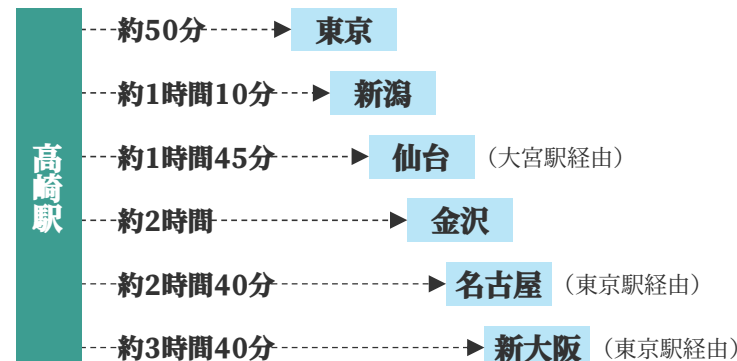
- 関越、上信越、北関東、東北自動車道により、東日本と西日本、太平洋側と日本海側を結ぶ高速交通網が整備されています。

高速道路利用



- 上越新幹線と北陸新幹線が走っており、鉄道交通の結節点である高崎駅を中心に各方面へのアクセスが便利です。

新幹線利用



群馬県に受け継がれてきた産業技術の発展

● 豊富な資源と地域性から成り立つ伝統ある技術の、現在に至るまでの継承と発展

受け継がれる製造業の系譜

- 利根川の存在や交通網の結節点という優良な地域条件を背景に、各所の技術や人材が集中し製造業が発展
- また、生糸産業に欠かせない機織機が、精密機器として群馬県内で独自に開発されるなど、技術の精密化も発展
- さらに、豊富な電力を確保できる環境が、中島飛行機（現SUBARU）をはじめとする日本代表企業を創出
- その後、中島飛行機を含め、軍需工業が発達。戦後はそれらの技術を転用し、輸送機器・業務用機器などの製造業が台頭
- 時代を超えて受け継がれる技術が、現在の「SUBARU」や「サンデン」の基盤となって表れている



地理的優位性と技術の蓄積による産業の集積



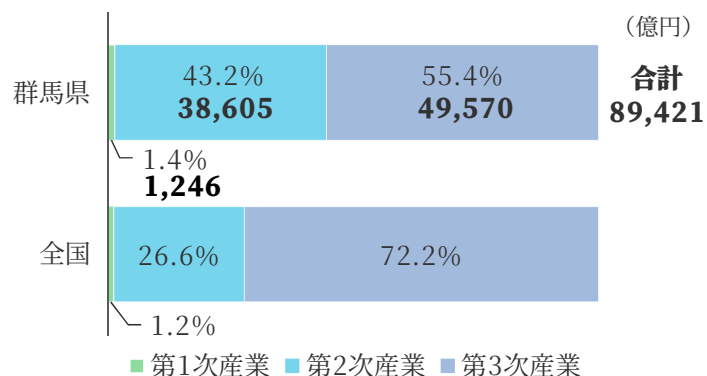
輸送機器	① SUBARU	③ ミツバ	⑤ マレリ
	② 日野自動車	④ 日本発条	
化学	⑥ 信越化学工業	⑦ 協和キリン	⑧ 関東電化工業
食料品	⑨ 山崎製パン	⑪ ブルドックソース	⑬ ダノンジャパン
	⑩ 高崎森永	⑫ 高梨乳業	⑭ 日本ケロッグ
業務用機器	⑮ キヤノン電子	⑯ サンデン	
飲料・飼料	⑰ 明治	⑱ ポッカサッポロ	⑲ サントリー

群馬県の産業構造



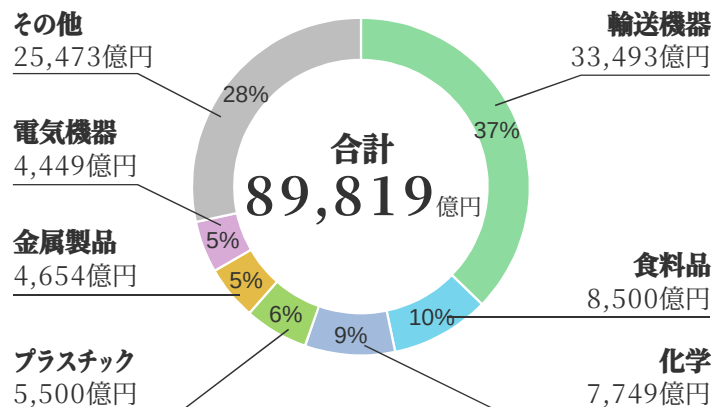
- 発達した交通網、安定した気候、自然災害の少なさ、長い歴史で築かれた基盤技術などで、ものづくり産業が発展
- 豊富な水資源や首都圏に位置するなど有利な立地条件を活かし、「首都圏の台所」として、多彩で多様な農業が展開

産業別名目県内（国内）総生産



出典：群馬県県民経済計算（H30年度）
及び内閣府国民経済計算（H30暦年）

製造品出荷額等



出典：2020年工業統計（確報）

主な県内立地企業

業種	企業名	
輸 送 機 器	SUBARU	日本発条
	日野自動車	マレリ
	ミツバ	
食 料 品	山崎製パン	高梨乳業
	高崎森永	ダノンジャパン
	ブルドックソース	日本ケロッグ
化 学	信越化学工業	協和キリン
	関東電化工業	
業務用機器	キヤノン電子	サンデン
飲料・飼料	明治	サントリー
	ポッカサッポロ	

農業生産量全国順位（令和元年）

順位	品目	生産量	占有率
1位	こんにゃくいも	55,300 t	94%
	キャベツ	275,300 t	19%
	えだまめ	6,230 t	9%
2位	きゅうり	59,000 t	11%
	ふぎ	1,130 t	12%
	うめ	4,240 t	5%
	ほうれんそう	20,200 t	9%
3位	なす	26,500 t	9%
	レタス	51,500 t	9%
	はくさい	29,700 t	3%
	しゅんぎく	2,380 t	9%
4位	ねぎ	21,100 t	5%
	生しいたけ	3,967 t	6%

出典：R元年農林水産統計

製造品出荷額等全国1位の製品（令和元年）

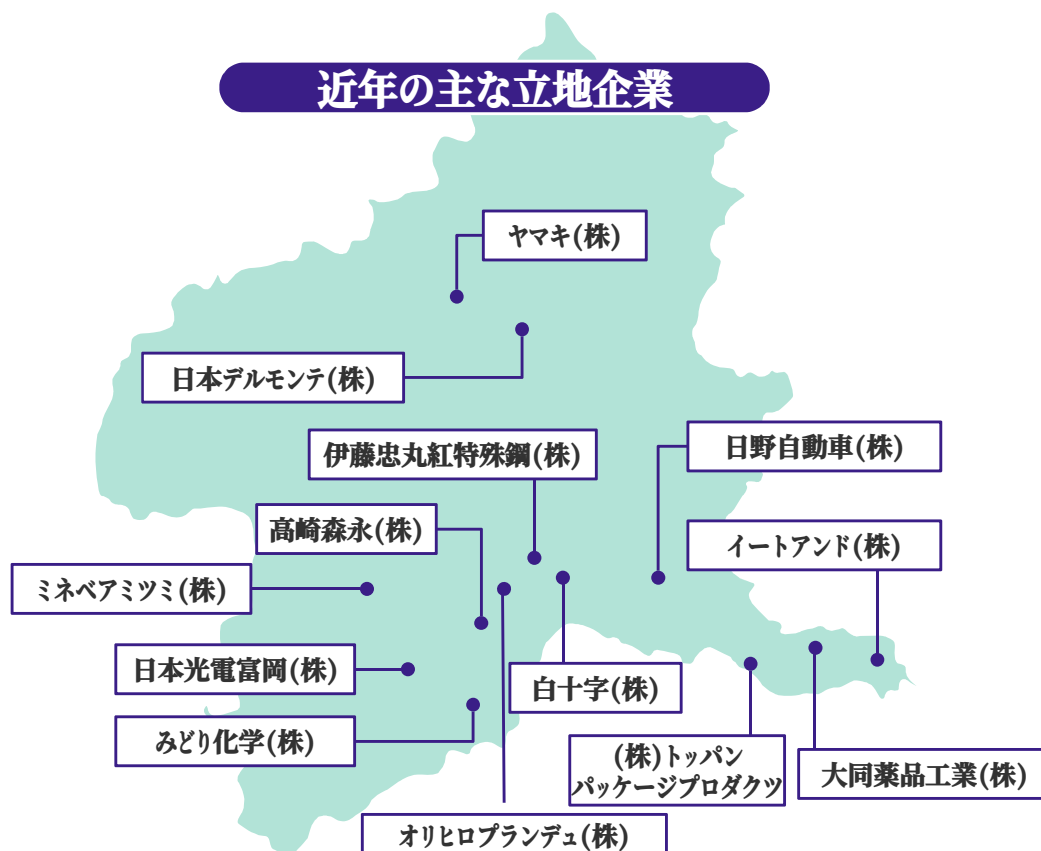
製品	出荷額
乗用車ボデー（東亜工業、エイチワン、矢島工業 など）	793億円
コーヒー飲料（AGF関東、UCC上島珈琲など）	373億円
金融用端末装置（沖電気工業、岡部工業など）	360億円
豆腐（相模屋食料、マック食品 など）	290億円

出典：2020年工業統計（確報）

恵まれた立地条件を活かした産業活力の向上

企業立地（民間企業から選ばれる群馬県）

近年の主な立地企業



- ・「事業継続体制」を意識した民間企業の立地が加速
- ・民間企業に選ばれる理由
「災害リスクの低さ」、「東京圏との同時被災の回避」、
「東西南北への良好なアクセス」、「東京圏との距離」など
- ・データセンター、物流のバックアップ拠点として貢献

Gメッセ群馬（群馬コンベンションセンター）



- ・高崎駅東口から約1.1kmの位置に、展示施設と会議施設が一体となった施設が完成。国際会議や大規模展示会、1万人規模のライブなどが開催可能
- ・コンベンションの開催により交流人口の増加や大きな経済効果が期待でき、人口減少社会が進むなか、「**中長期的に県経済を牽引する社会インフラ**」となる

Gメッセ群馬（群馬コンベンションセンター）の概要

- ・施設規模：多目的展示施設 10,000㎡、会議施設 3,400㎡
- ・概算事業費：約280億円
- ・想定年間来場者数：約96万人
- ・想定運営収支：収入 約5億円、支出 約4億円
- ・経済効果：年間約128億円



群馬県の魅力あふれる観光資源



● 温泉、自然、歴史遺産といった魅力あふれる豊富な観光資源が人々を惹きつける

人気が高い群馬県ブランドの温泉

- 群馬県の温泉は泉質も施設も種類が豊富です
- 全国的にも人気が高く、群馬県の観光の目玉として抜群の集客力を誇り、大きな経済効果をもたらしています

第34回にっぽん温泉100選

総合ランキング（抜粋）

総合順位	温泉地名	所在地
1	草津	群馬県
2	別府八湯	大分県
3	下呂	岐阜県
4	有馬	兵庫県
5	指宿	鹿児島県
13	伊香保	群馬県
29	万座	群馬県
40	四万	群馬県
47	みなかみ18湯	群馬県

出典：（株）観光経済新聞社

みんなで選ぶ 第13回温泉大賞

温泉番付 東（抜粋）

総合順位	温泉地名	所在地
横綱	草津	群馬県
大関	箱根	神奈川県
関脇	登別	北海道
前頭	伊香保	群馬県
前頭	万座	群馬県
前頭	四万	群馬県
前頭	水上	群馬県

出典：BIGLOBEによるサイト上でのWebアンケート調査（アンケート期間は2021年3月23日～2021年5月21日）



草津温泉



伊香保温泉



水上温泉



群馬県の自然

- 群馬県は山林が県土の約3分の2を占め、豊かな自然にあふれています
- 県内では川、滝、湖沼、湧水など、さまざまな水の形に出会うことができます。山々は古く『万葉集』にも詠みこまれ、深田久弥著の『日本百名山』では県内から11の山が選ばれています
- また、日本を代表する美しい風景と貴重な生態系を有する尾瀬は、全域が国立公園の特別地域であり、その核心部は特別保護地区として、国の特別天然記念物に指定されています



尾瀬



赤城山



わたらせ渓谷鉄道

妙義山

群馬県の歴史遺産



富岡製糸場



天神山古墳

富岡製糸場は、明治5（1872）年に日本初の官営器械製糸工場として設立されました。平成26年に、世界遺産に登録されるとともに、国宝にもなりました

古墳時代、ヤマト政権の東国支配の拠点として繁栄していた上毛野。群馬県には1万基以上の古墳があるといわれており、古墳の数は全国で有数。太田市「天神山古墳」は、全長210mで、東日本で最大の前方後円墳

群馬のトリビア①



●日本一・世界一

つつじが岡公園	推定樹齢 800年を超えるヤマツツジをはじめ約1万株のツツジが美しく咲き誇る名勝。アメリカのツツジ・ジャクナゲ協会会長デビット・リーチ氏が「世界一」と賞賛。
利根川	みなかみ町の大水上山（おおみなかみやま）を源流とし流域面積約 16,840㎢で日本一。
ぐんま昆虫の森	敷地面積が 45haで体験型昆虫施設としては日本最大。
緑の少年団の団員数	平成 29年度現在、56,526名で日本一の数。また、県内の全小学校に緑の少年団が設置されているのは群馬県だけ。
公営電気事業体の発電所数	群馬県企業局には、発電所が 35カ所（水力 32、火力1、太陽光2）あり、公営電気事業者（地方公共団体が経営する電気事業体）として日本一の数で、供給電力量も日本一（平成 30年9月末時点）。
下久保ダム	堤体の長さが 605mで、重力式コンクリートダムの中で日本一の長さ。
丸沼ダム	高さが 32.1mで、コンクリートバットレスダムの中で日本一の高さ。
ぐんま県境 稜線トレイル	群馬と新潟・長野の県境稜線 100kmを主要ルートとしたロングトレイル（登山道やハイキング道、林道、古道などをつなぎ合わせた距離の長い自然歩道）。国内のロングトレイルの中でも稜線の長さは最長。
こんにゃく	こんにゃくいの収穫量は、群馬県が全国の 90%以上で日本一（令和元年）。
キャベツ	嬬恋村を中心に栽培が盛んで、日本一の収穫量（平成 30年産野菜生産出荷統計）。
夏秋ナス	露地なすを中心とした栽培が盛んで、日本一の収穫量（平成 30年産野菜生産出荷統計）。
繭と生糸	群馬県は繭の生産量、生糸の生産量、養蚕農家戸数が日本一（大日本蚕糸会調べ 令和元年）。
鮎	1年で世代交代する鮎。県水産試験場で生産している養殖鮎は、令和元年で 50回世代交代を行っており、日本一。
荒船風穴	下仁田町にあり、明治 38年から大正にかけて建設された天然の冷風を利用した蚕種貯蔵施設で、貯蔵能力は種紙 110万枚で日本一。
㈱群馬県食肉卸売市場	㈱群馬県食肉卸売市場は小動物（豚）のと畜許可頭数が1日当たり3,000頭で、日本一。また、EU への輸出が許可された施設としては日本初。
その他の清涼飲料水 出荷額	その他の清涼飲料水の出荷額は日本一（2019年工業統計（2018年実績））。
小型ステープラー	マックス㈱が生産する小型ステープラーは国内でのシェア日本一。
ヤマダ電機	家電量販店として年間売上高日本一。
高崎だるま	高崎だるまは年間約 90万個を出荷で日本一。
創作こけし	創作こけしの生産量は日本一。
豆腐・しみ豆腐・油揚げ類 の出荷額	豆腐・しみ豆腐・油揚げ類の出荷額は日本一（平成 28年経済センサス活動調査（平成 27年実績））。
埴輪	国宝・重要文化財に指定されている埴輪 58件のうち、群馬県出土の物は 22件あり、日本一の数。
史跡上野国分寺七重塔	国分寺の塔として日本最大級の推定高 60.5mの七重塔が建てられていた。
天神山古墳	太田市にある「天神山古墳」は、全長が 210mで東日本で最大の前方後円墳。
上毛かるた	累計で約 148万組発行、郷土かるたの中で日本一。
フランソワ・ ボンボン所蔵数	館林美術館が所蔵する「フランソワ・ボンボン」の作品コレクションの数は全 67点で、日本一。
高崎市内の山車数	高崎市内にある江戸型山車数の保存数は 38台で、日本一の数。
土合駅	ホームと駅舎の間に日本一の階段数の 486段の階段がある「日本一のモグラ駅」。

利根川・江戸川 サイクリングロード	全長約170km。川沿いでは日本一長いサイクリングロードで、群馬県はその出発点。
メロディーライン設置数	県内には 10カ所設置されており、日本一の数。
志賀草津道路	標高2,172メートルは国道最高地点で日本一。
すき焼き	H30に開催された「オールぐんまdeすき焼きまつり」で「1時間に何人にすき焼きを振る舞えるか」について、745人の世界記録を達成。
伊勢崎もんじゃ	令和元年に開催された「いせさきもんじゃチャレンジフェスティバル!!2019」で「同時に鉄板焼きを作った最多人数」について、277人の世界記録を達成。

●日本初・世界初

尾瀬	「ごみ持ち帰り運動」が尾瀬で初めて行われた。
赤谷プロジェクト	生物多様性の復元と持続的な地域づくりのため、地域住民で組織する赤谷プロジェクト地域協議会、林野庁 関東森林管理局、日本自然保護協会の3者が協働して、国有林を管理する日本初の取り組み。
伊香保温泉	温泉まんじゅう発祥の地。また、伊香保温泉の石段（365段）は、金刀比羅宮（香川県 1,368段）、立石寺（山寺）（山形県 1,015段）と並び「日本三大名段」。
四万温泉	国民保養温泉地第一号に指定。「積善館」の建物のうち、「本館」は日本最古の木造湯宿建築。
ヤマメの人口ふ化	昭和32年に、嬬恋村の養魚家が、日本で初めてヤマメの人工授精・ふ化に成功。
森喜作	桐生市出身の農学博士「森喜作」が、昭和17年に純粋培養菌種駒法（種駒栽培）を開発し、世界で初めていたけの人工栽培に成功。
ハコスチ	遊魚用ニジマス「ハコスチ」は、美しい姿形の箱島系ニジマスと野性味が強いスチールヘッド系の交配によって生まれた、希少な釣り用系統。平成27年に、日本で初めて釣り用のニジマスとして開発された。
富岡製糸場	日本初の本格的な模範製糸工場として操業開始。また、産業遺産としては、国内初の国宝。
新町紡績所	日本で最初に官営で操業した屑糸や屑繭を使った絹糸紡績工場。
中小坂鉄山	下仁田町にあった鉄山で、江戸時代から製鉄が行われ、明治になって日本初の西洋式・近代的製鉄所として操業を開始した。
わくわく自販機 ミュージアム	（一社）日本自動販売システム機械工業会が日本で初めて開設した自動販売機をPRする常設施設（現在はサンデンリテールシステム㈱が運営）。
恐竜の足跡	神流町の漣岩（さざなみいわ）の化石にあるくぼみが、研究者によって、日本で初めて恐竜の足跡の化石に認定された。
岩宿遺跡	日本で最初に発見された旧石器時代の遺跡。
碓氷峠	交通の要衝である碓氷峠に鉄道が開通したのは明治26年のこと。信越本線の横川〜軽井沢間は、最大66.7パーミル、標高差553mの急勾配のため、レールの間に歯車のレールを敷設し、歯車を機関車の歯車と噛みあわせて運行する「アプト式」を採用しました。明治45年には国有鉄道幹線では最初に電化された。平成9年の長野新幹線開通を機に廃線。
群馬交響楽団	昭和20年創設の「高崎市民オーケストラ」を前身とし、「群馬フィルハーモニーオーケストラ」と改称後、昭和22年にプロとなり、昭和38年に群馬交響楽団と改称された。昭和30年に群響がモデルの映画「ここに泉あり」が公開されて注目を集める。また、県内の小中学生にオーケストラの演奏を身近に感じる機会として開催されている移動音楽教室は、昭和22年から始まり、延べ630万人以上の児童・生徒が鑑賞している。
上泉伊勢守信綱	剣術の新陰流を創始したほか、袋竹刀を発明。
中学生まで医療費無料	所得制限や受診時の窓口負担なく、中学校卒業まで医療費が無料となる制度を、全国に先がけて平成21年10月から群馬県が実施。
U19eスポーツ選手権	19歳以下の最強チームを決定する国内初のeスポーツ大会。

群馬のトリビア②



●日本最古

磯部温泉	古地図に日本最古の温泉マークがしるされた「温泉記号発祥の地」。
神津牧場	明治20年（1887）、日本で最初の洋式の牧場として開設。
上野三碑（山上碑、多胡碑、金井沢碑）	山上碑は完全な形で現存する石碑としては日本最古。金井沢碑は「群馬」という文字が使われた県内最古の例。多胡碑は日本三古碑の一つ。平成29年10月にはユネスコ「世界の記憶」に登録された。
安政の遠足	江戸時代、安中藩主が藩士の鍛錬のため徒歩競争させた。これが日本のマラソンの発祥とされる。

●日本で唯一

上野村のシオジ林	上野村橋原にあるシオジの原生林は、シオジ林としては日本で唯一、天然記念物に指定されている。
ウクレレ	前橋市の三ツ葉楽器㈱は、国内で唯一ウクレレを量産。
ダノンジャパン㈱館林工場	館林市にある「ダノンジャパン㈱館林工場」は、国内で唯一同社の製品を製造する工場。
日本ケロッグ（合同）高崎工場	高崎市にある「日本ケロッグ（合同）高崎工場」は、国内で唯一同社の製品を製造する工場。
高梨乳業㈱群馬工場	高崎市にある「高梨乳業㈱群馬工場」は、国内で唯一ハーゲンダッツのアイスクリームを製造する工場。
重粒子線がん治療施設	総合病院に併設された重粒子線治療施設は群馬大学医学部附属病院（前橋市）のみ。
㈱SUBARU	「㈱SUBARU群馬製作所」では「スバル」ブランドで自動車を生産。世界でも数少ない「水平対向エンジン」を搭載し、群馬から日本国内、さらに全世界へ輸出。
ヤマト発動機㈱	太田市の「ヤマト発動機㈱」は、ボートレース用のモーター（エンジン）とボートを国内で唯一生産。
AED	富岡市にある医療機器メーカー「日本光電富岡㈱」は、A E D（自動体外式除細動器）を国内で唯一製造。
自然史博物館	日本で唯一カマラサウルスの実物化石を使った全身骨格を展示。ブラキオサウルスの全身骨格復元模型の展示や、トリケラトプスの実物骨格を展示しているボーンベッドも、日本で唯一。また、館内のブナ林のジオラマは高さ日本一のほか、日本に数点しかないダーウィンの手紙を日本で初めて公開。
上三原田の歌舞伎舞台	渋川市にある国重要有形民俗文化財。ガンドウ機構（三方の板壁を外側に倒して舞台面を2倍以上の広さにする）、遠見機構（舞台の奥に遠見と呼ぶ背景をつけ、奥行きを深く見せる）、柱立式廻転機構（平舞台いっぱいの回転部を回転させる）、二重セリ機構（二重と呼ぶ小舞台を天井・奈落の双方からせり上げ、せり下ろす）という全国に例のない4つの機構があり、その操作技術とともに伝承されている。
ゲルニカ（タピスリ）	県立近代美術館が所蔵する「ゲルニカ（タピスリ）」は、ピカソの「ゲルニカ」をもとに本人が監修して作られた綴織りで、3点のみ制作された貴重な美術品。日本では同館のみが所蔵。
主要地方道佐野古河線	渡良瀬遊水地の西側を走る主要地方道佐野古河線は、群馬、栃木、埼玉、茨城4つの県をまたぐ日本で唯一の県道。

●日本三大・世界三大

妙義山	耶馬溪（大分県）、寒霞溪（かんかけい）（香川県）と並び、「日本三大奇勝」。「日本近代登山の父」ウォルター・ウェストンが妙義の山岳ガイド根本清蔵に登山技術を教えたことから「近代登山発祥の地」ともいわれる。
谷川岳	日本百名山で、劔岳（富山県）、穂高岳（長野県・岐阜県）と並んで「日本三大岩場」。
川中温泉	美肌効果があると言われ、龍神温泉（和歌山県）、湯の川温泉（島根県）とともに、「日本三美人の湯」。
太田焼そば	横手やきそば（秋田県）、富士宮やきそば（静岡県）とともに「日本三大焼そば」。
水沢うどん	稲庭うどん（秋田県）、讃岐うどん（香川県）と並んで「日本三大うどん」。
伊勢崎市境島村地区	世界遺産「田島弥平旧宅」がある伊勢崎市境島村地区は、かつて福島県伊達地方、長野県上田地方とともに「日本三大蚕種製造地帯」といわれ、蚕種の生産が盛んだった。
貫前神社	531年創建と伝えられ、927年の「延喜式」の神名帳に掲載されている由緒ある神社。総門よりも社殿が低いところにある「下り宮」で、鶴戸神宮（宮崎県）、草部吉見神社（熊本県）と並んで「三下り宮」。
曹源寺のさざえ堂	太田市にあり、会津さざえ堂（福島県会津若松市）、平等山成身院百体観音堂（埼玉県本庄市）とともに、「三大さざえ堂」。（さざえ堂とは、螺旋状の回廊を有する特異な建築物で、江戸時代に各地で建設された）
碓氷関所	安中市にある旧中山道の関所。箱根関所（神奈川県）、新居関所（静岡県）とともに「日本三大関所」。なお「日本四大関所」の場合は、三大関所に福島関所（長野県）が加わる。
関孝和	円周率や球の体積の計算方法を考え出し、ニュートン、ライブニッツと並ぶ世界三大数学者。
土師の辻	藤岡市の土師神社にあり、石川県の羽咋神社、大阪府の住吉神社とともに「日本三辻」。（相撲辻とは屋外で行った相撲の土俵のこと）
船津伝次平	幕末から明治にかけて活躍した農業指導者で、奈良県の中村直三、香川県の奈良専二とともに「日本三老農」。群馬をはじめ我が国の農業技術改良や普及に尽力した。
高山彦九郎	高山彦九郎は、江戸時代後期の尊皇思想家で、林子平・蒲生君平とともに「寛政の三奇人」。幕末の尊皇運動に大きな影響を与えた。
草津温泉	「日本三名泉」「日本三大薬湯」にも数えられる名湯。

●貴重・希少

沼田の河岸段丘	利根川、薄根川や片品川の両岸で見ることができる。特に片品川に沿って広がる7段の段丘は、規模が大きく形がはっきりしているため、多くの高校の教科書で、その典型的な場所として紹介されている。
チャップミゴケ	硫黄泉や硫化金属鉱山付近の流水中や湿岩に生育するコケで、北海道から九州にかけて分布。中之条町六合地区の元山にあるチャップミゴケ公園は、鉄鉱石の露天掘り跡に強酸性の湯が湧出し、チャップミゴケが群生している。広範囲に生育しているのは珍しく、国の天然記念物に指定されている。
満徳寺	太田市にあり、江戸時代中頃に以降に江戸幕府の公認を受けた、世界に二つしかない縁切寺の一つ。もう一つは鎌倉の東慶寺。「駆け込み寺」とも呼ばれ、江戸時代、離婚を求めて駆け込んだ妻を救済し、夫との離婚を達成させてくれた尼寺。
平坦地にある3県境	東武日光線柳生駅の近くには群馬、栃木、埼玉の3県の県境が平地の水田内にある珍しい地点がある。

Section 2.

財政状況とSDGsの取り組み

- 昭和32年以降、64年間連続で黒字決算となり、安定した財政運営を実施
- 臨時財政対策債を除く県債残高は、平成14年度をピークに減少傾向
- 人口千人当たりの職員数（一般行政部門）は、少ない方から数えて全国2位の2.04人
- SDGs先進県に向けて「ぐんまSDGsイニシアティブ」を発信し、官民連携でSDGsを推進



草津温泉

自噴する温泉としては、日本で一番の湧出量を誇ります。街の中心にある湯畑は草津のシンボルとなっています。

令和3年度群馬県当初予算



基本方針

- キーワードは「新型コロナ封じ込め加速予算」「新たな未来構築予算」
- コロナとの長期戦を戦い抜くと同時に、「新・総合計画のビジョン」で描いた20年後の未来を実現するための取組も進める
- 災害等に備え、将来世代の県民の幸福にもリソースを振り向けるため、財政運営の持続可能性も高める

重点施策

1

コロナとの長期戦
を戦い抜く

2

ニューノーマルの
早期実現

3

「100年続く自立
した群馬」の実現

4

新たな富や
価値の創出

5

財政の健全性
の確保

特徴的な施策

医療提供体制の確保

予算額：341.6億円

- 必要な受入病床の確保や受入医療機関への支援など



企業活動の継続支援 (制度融資)

融資枠：2000億円

- 県内中小・小規模事業者の積極経営、経営の安定化を金融面から支援

I C T活用スキル 育成プロジェクト

予算額：5.5億円

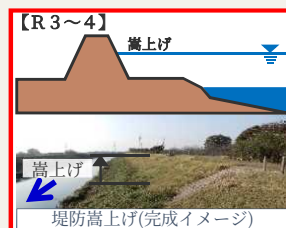
- 「教育D X推進コーディネーター」の配置
- 学習支援ソフトウェアの活用

など

防災・減災対策

予算額：295.2億円

- 「災害レジリエンスNo.1」の実現に向け、緊急的かつ重点的に防災・減災対策を推進



「ぐんま5つのゼロ宣言」の 実現とSDG sの推進

2050年に向けた「ぐんま5つのゼロ宣言」

宣言1	自然災害による死者「ゼロ」
宣言2	温室効果ガス排出量「ゼロ」
宣言3	災害時の停電「ゼロ」
宣言4	プラスチックごみ「ゼロ」
宣言5	食品ロス「ゼロ」

【主な関連事業】

「ぐんま再生可能エネルギー プロジェクト」の推進

予算額：2.7億円

- 住宅用太陽光発電設備等導入資金融資 など

ぐんまゼロ宣言住宅促進

予算額：1.1億円

ぐんまちゃんのブランド力強化

予算額：3.3億円

- 「ぐんまちゃん」を世界中で認知度の高い「人気キャラクター」に成長させる
- 認知度の高さを活用し、県全体の利益向上と県民の郷土愛の醸成を図る



観光戦略の構造転換

予算額：1.5億円

- ニューノーマルに対応した新たな観光スタイルの構築 など

事業の見直し

- 財政の健全性の確保を図るため、計254件（▲8.1億円）の見直しを実施

歳入の確保

- ぐんま天文台、ぐんま昆虫の森などの11施設についてネーミングライツの導入を検討
- クラウドファンディング型ふるさと納税の実施のほか、返礼品の充実（上限額の変更、体験型返礼品の追加）などにより、より積極的にふるさと納税を募集

体験型返礼品の例



令和3年度一般会計当初予算（歳入）



- 県税や地方消費税清算金は、新型コロナウイルス感染症による影響などにより大幅に減少
- 臨時財政対策債の増により、県債は大きく増加
- コロナウイルス感染症対策などの歳出増に対応するため、財源対策として基金繰入金は増加

区分		R3年度 当初予算額（億円）	R2年度 当初予算額（億円）	前年度比 （%）
県税		2,345	2,465	95.1
地方消費税清算金		892	1,021	87.3
地方譲与税		240	369	65.0
地方交付税		1,323	1,309	101.1
国庫支出金		1,225	840	145.8
県債		1,119	965	115.9
	臨時財政対策債	650	380	171.1
	その他の県債	469	585	80.1
基金等繰入金		230	157	146.6
その他		277	325	85.1
合計		7,651	7,451	102.7
内訳	自主財源	3,724	3,946	94.4
	依存財源	3,926	3,505	112.0

※ 臨時財政対策債は、地方交付税の不足を補うものとして国から地方団体に発行額が割り当てられ、償還費は後年度の地方交付税に加算される地方債（借入）で、実質的な地方交付税とされているものです
 ※ 依存財源は地方譲与税、地方特例交付金、地方交付税、交通安全対策特別交付金、国庫支出金及び県債です
 ※ 自主財源は依存財源以外の財源です

令和3年度一般会計当初予算（歳出・性質別）



- 令和3年度当初予算規模は、前年度対比2.7%の増
- その他の増は、新型コロナウイルス感染症対策経費の大幅な増加に伴うもの
- 社会保障関係費は、少子高齢化を反映し、引き続き増加

区分	R3年度 当初予算額（億円）	R2年度 当初予算額（億円）	前年度比 （%）
義務的経費	3,530	3,535	99.9
人件費	2,173	2,196	98.9
退職手当	206	211	97.4
退職手当除き	1,967	1,985	99.1
扶助費	360	337	107.1
公債費	997	1,002	99.5
投資的経費	883	974	90.7
補助公共事業	551	600	91.7
単独公共事業	203	206	98.7
その他の建設事業	129	168	77.1
補助費等	2,565	2,348	109.3
その他	672	594	113.1
合計	7,651	7,451	102.7
うち社会保障関係費	1,081	1,069	101.2

普通会計の決算収支

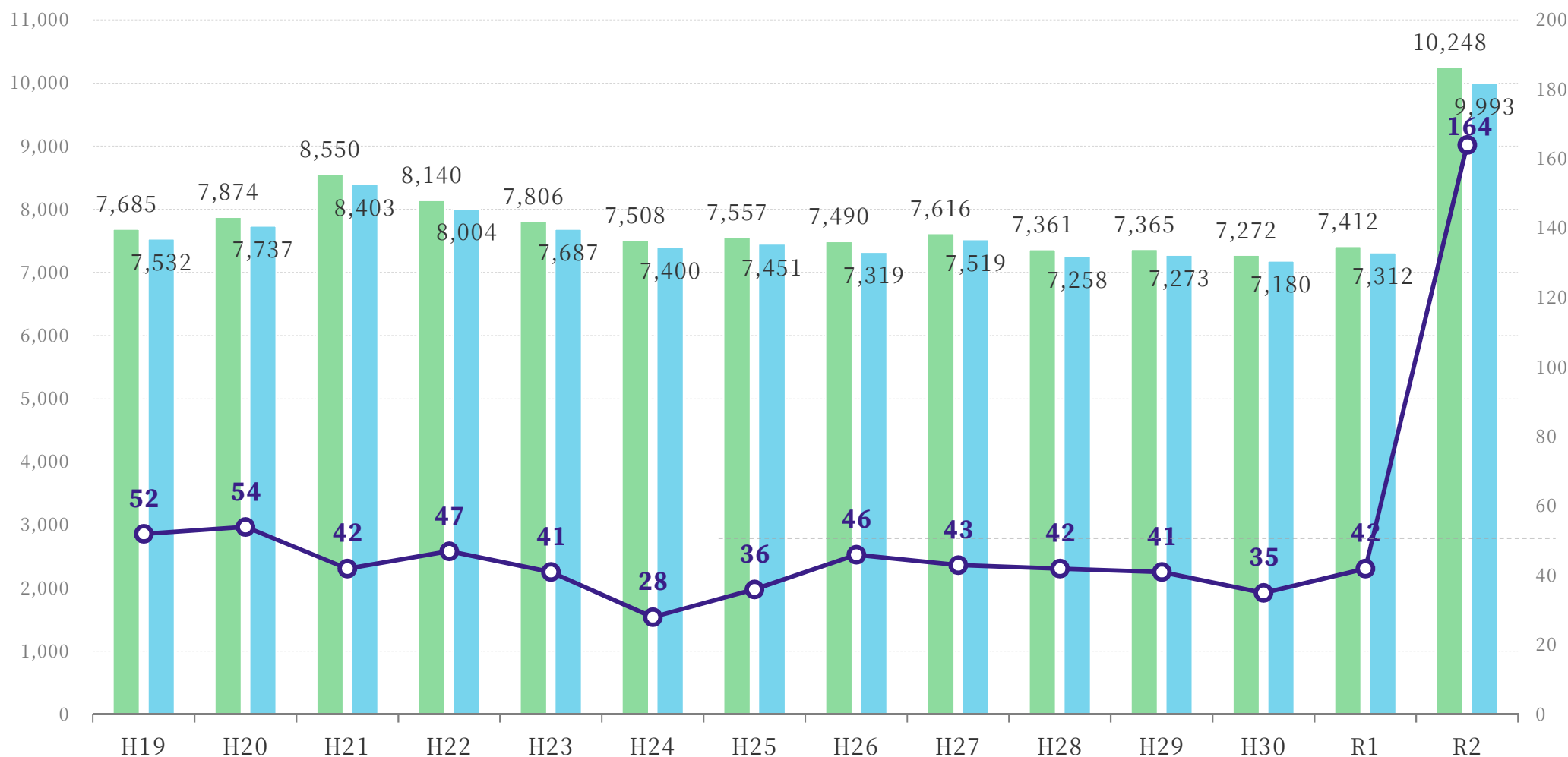


- 昭和32年度以降、64年間連続で黒字決算となり、安定した財政運営を実施
- R2年度は、新型コロナウイルス感染症への対応等により、歳入歳出ともに前年度を大幅に上回った。

実質収支は164億円の黒字。(ただし、このうち103億円は国から概算で交付された新型コロナウイルス感染症関連の国庫支出金の事業費確定に伴う不用額であり、令和3年度中に国に返還予定。)

(億円)

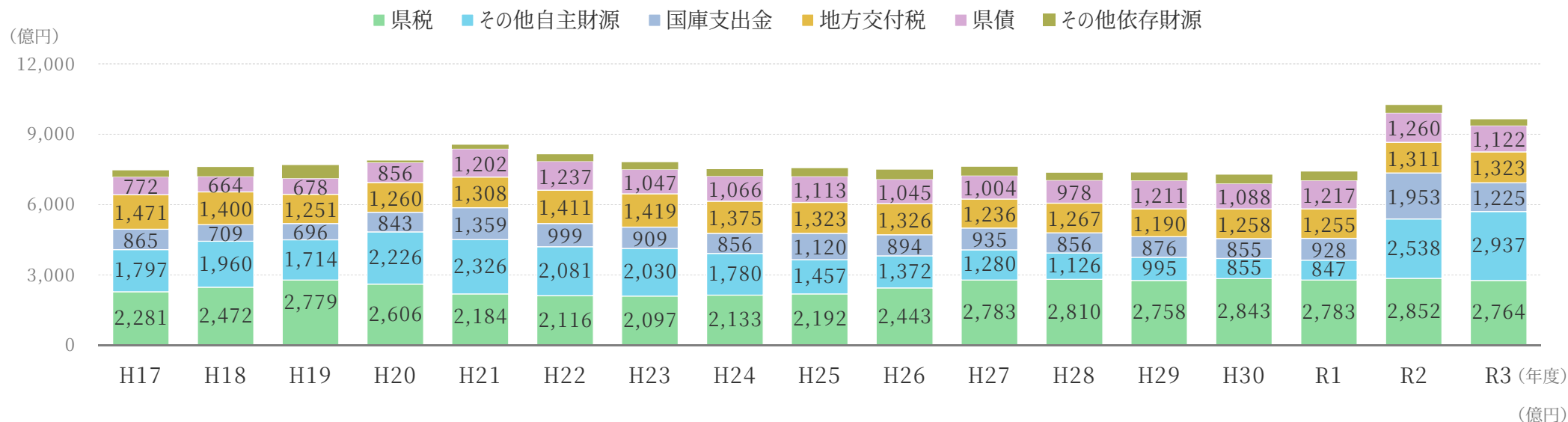
■ 歳入総額 ■ 歳出総額 ● 実質収支 (右軸)



普通会計決算（歳入）の推移



- R元年度の県債は、防災・減災対策の実施や台風第19号に伴う災害復旧事業などにより、前年度に比べ129億円の増加
- R2年度は、新型コロナウイルス感染症対策のための国庫支出金等が大幅に増加



歳入決算額	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
歳入総額	7,460	7,599	7,685	7,874	8,550	8,140	7,806	7,508	7,557	7,490	7,616	7,361	7,365	7,271	7,412	10,248	9,631
自主財源	4,078	4,432	4,493	4,832	4,509	4,197	4,127	3,913	3,650	3,815	4,063	3,936	3,754	3,698	3,630	5,391	5,701
県税	2,281	2,472	2,779	2,606	2,184	2,116	2,097	2,133	2,192	2,443	2,783	2,810	2,758	2,843	2,783	2,852	2,764
その他自主財源	1,797	1,960	1,714	2,226	2,326	2,081	2,030	1,780	1,457	1,372	1,280	1,126	995	855	847	2,538	2,937
依存財源	3,382	3,167	3,192	3,042	4,041	3,943	3,679	3,596	3,907	3,675	3,553	3,425	3,611	3,573	3,782	4,857	3,929
国庫支出金	865	709	696	843	1,359	999	909	856	1,120	894	935	856	876	855	928	1,953	1,225
地方交付税	1,471	1,400	1,251	1,260	1,308	1,411	1,419	1,375	1,323	1,326	1,236	1,267	1,190	1,258	1,255	1,311	1,323
県債	772	664	678	856	1,202	1,237	1,047	1,066	1,113	1,045	1,004	978	1,211	1,088	1,217	1,260	1,122
(臨財債)	255	229	207	252	510	803	637	640	665	607	457	384	460	448	380	371	650
(その他)	517	435	471	604	692	434	410	426	448	438	547	594	751	640	837	889	472
その他依存財源	274	393	566	83	173	296	304	299	350	409	377	324	334	372	382	334	259

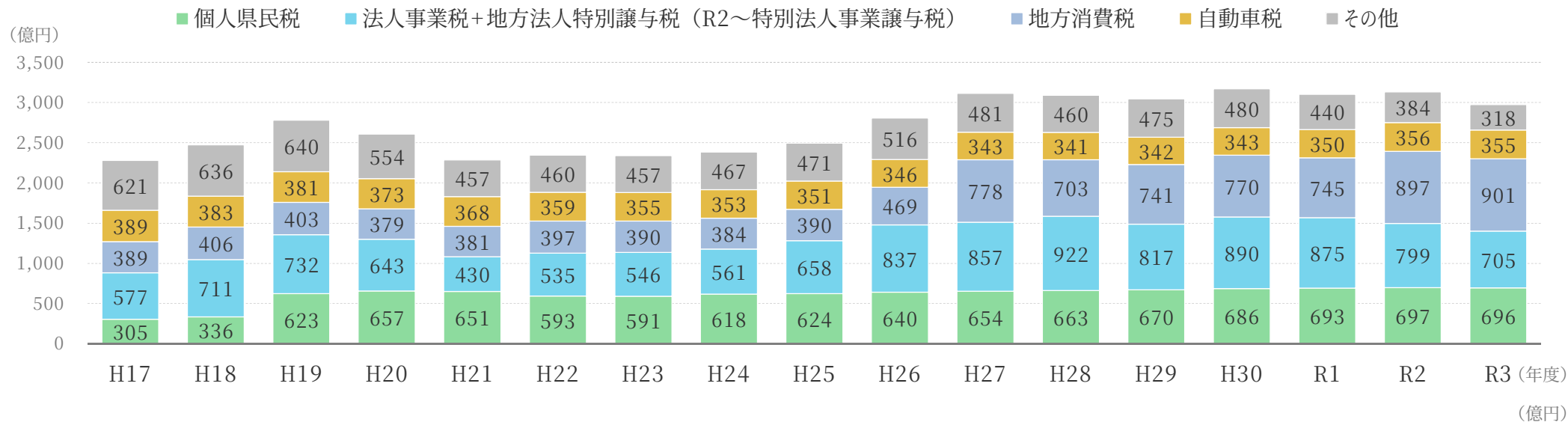
※県税は、地方消費税を清算後の額

※R2年度まで決算ベース、R3年度は当初予算ベース

県税決算の推移（普通会計）



- 主な税目は、個人県民税、法人事業税、地方消費税、自動車税など
- 法人事業税が景気の影響を受けることが、主な増減要因



歳入決算額	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
県民税	466	520	820	811	759	719	716	747	776	851	835	816	830	839	840	811	744
個人	305	336	623	657	651	593	591	618	624	640	654	663	670	686	693	697	696
法人	117	140	146	123	81	100	103	107	101	157	129	126	111	117	105	72	46
利子割	44	44	51	32	27	26	23	22	52	54	52	27	49	36	32	42	2
事業税	597	731	752	662	345	323	319	326	372	489	546	662	549	585	576	539	513
個人	20	20	20	20	18	16	15	15	16	17	19	19	19	21	21	21	19
法人	577	711	732	643	327	307	304	311	356	472	527	643	530	564	555	518	494
地方消費税	389	406	403	379	381	397	390	384	390	469	778	703	741	770	745	897	901
不動産取得税	73	70	74	70	58	48	50	47	51	60	50	57	56	59	54	48	49
自動車取得税	91	92	85	73	46	38	32	42	37	17	27	29	38	39	19	0	0
軽油引取税	214	208	201	175	154	175	172	172	174	172	167	166	169	175	176	170	169
自動車税	389	383	381	373	368	359	355	353	351	346	343	341	342	343	350	356	355
その他	32	62	63	63	73	57	63	62	41	39	37	36	33	33	33	32	32
合計	2,281	2,472	2,779	2,606	2,184	2,116	2,097	2,133	2,192	2,443	2,783	2,810	2,758	2,843	2,783	2,852	2,764
地方法人特別譲与税	—	—	—	—	103	228	242	250	302	365	330	279	287	326	320	281	211
法人事業税+地方法人特別譲与税	577	711	732	643	430	535	546	561	658	837	857	922	817	890	875	799	705

※地方法人特別譲与税はR2から特別地方法人事業譲与税

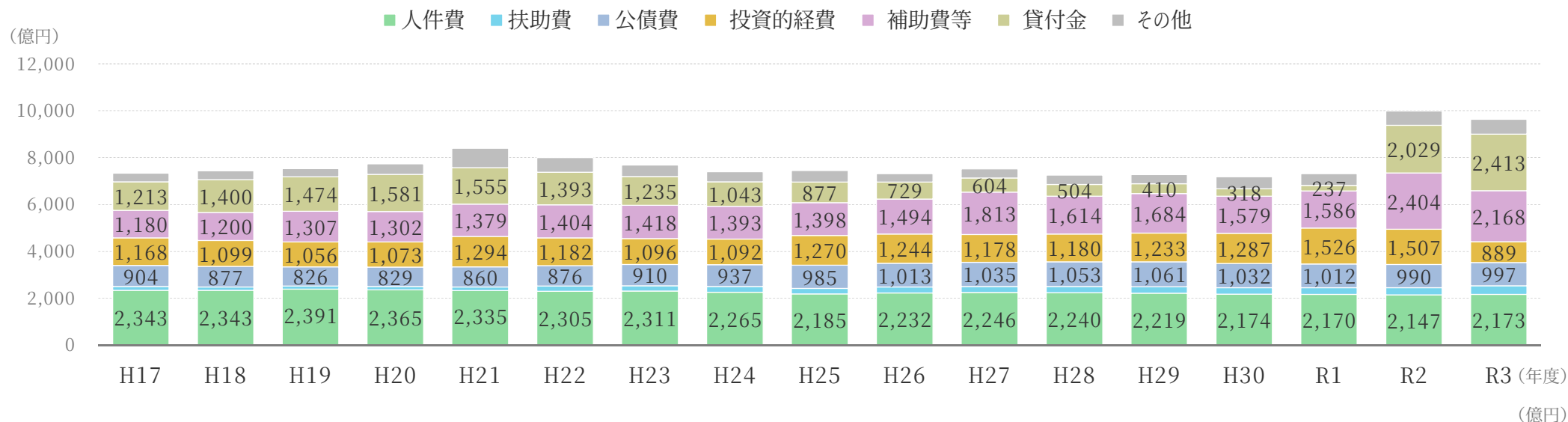
※地方消費税は清算後の額

※R2年度まで決算ベース、R3年度は当初予算ベース

普通会計決算（歳出・性質別）の推移



- 投資的経費は、防災・減災対策の実施や台風第19号に伴う災害復旧事業などにより、R元年度、R2年度は増加したが、事業の見直しを進め、R3年度予算では889億円に抑制
- R2年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、補助費等や貸付金が大幅に増加



歳出決算額	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
歳出総額	7,332	7,441	7,532	7,737	8,403	8,004	7,687	7,400	7,451	7,319	7,519	7,258	7,273	7,180	7,312	9,993	9,631
義務的経費	3,407	3,366	3,348	3,332	3,341	3,397	3,448	3,438	3,410	3,494	3,539	3,561	3,555	3,487	3,470	3,440	3,530
人件費	2,343	2,343	2,391	2,365	2,335	2,305	2,311	2,265	2,185	2,232	2,246	2,240	2,219	2,174	2,170	2,147	2,173
（うち職員給）	1,762	1,763	1,764	1,759	1,707	1,663	1,648	1,635	1,570	1,633	1,632	1,626	1,620	1,586	1,582	1,567	1,569
扶助費	160	145	130	138	146	217	227	236	240	249	258	268	275	281	288	303	360
公債費	904	877	826	829	860	876	910	937	985	1,013	1,035	1,053	1,061	1,032	1,012	990	997
投資的経費	1,168	1,099	1,056	1,073	1,294	1,182	1,096	1,092	1,270	1,244	1,178	1,180	1,233	1,287	1,526	1,507	889
普通建設事業	1,161	1,093	1,027	1,045	1,285	1,180	1,084	1,077	1,263	1,231	1,168	1,171	1,223	1,276	1,471	1,370	850
災害復旧事業	7	6	29	28	10	2	12	15	7	12	10	9	10	11	55	136	39
補助費等	1,180	1,200	1,307	1,302	1,379	1,404	1,418	1,393	1,398	1,494	1,813	1,614	1,684	1,579	1,586	2,404	2,168
貸付金	1,213	1,400	1,474	1,581	1,555	1,393	1,235	1,043	877	729	604	504	410	318	237	2,029	2,413
その他	364	376	347	449	833	627	489	434	496	358	385	399	391	509	493	613	631

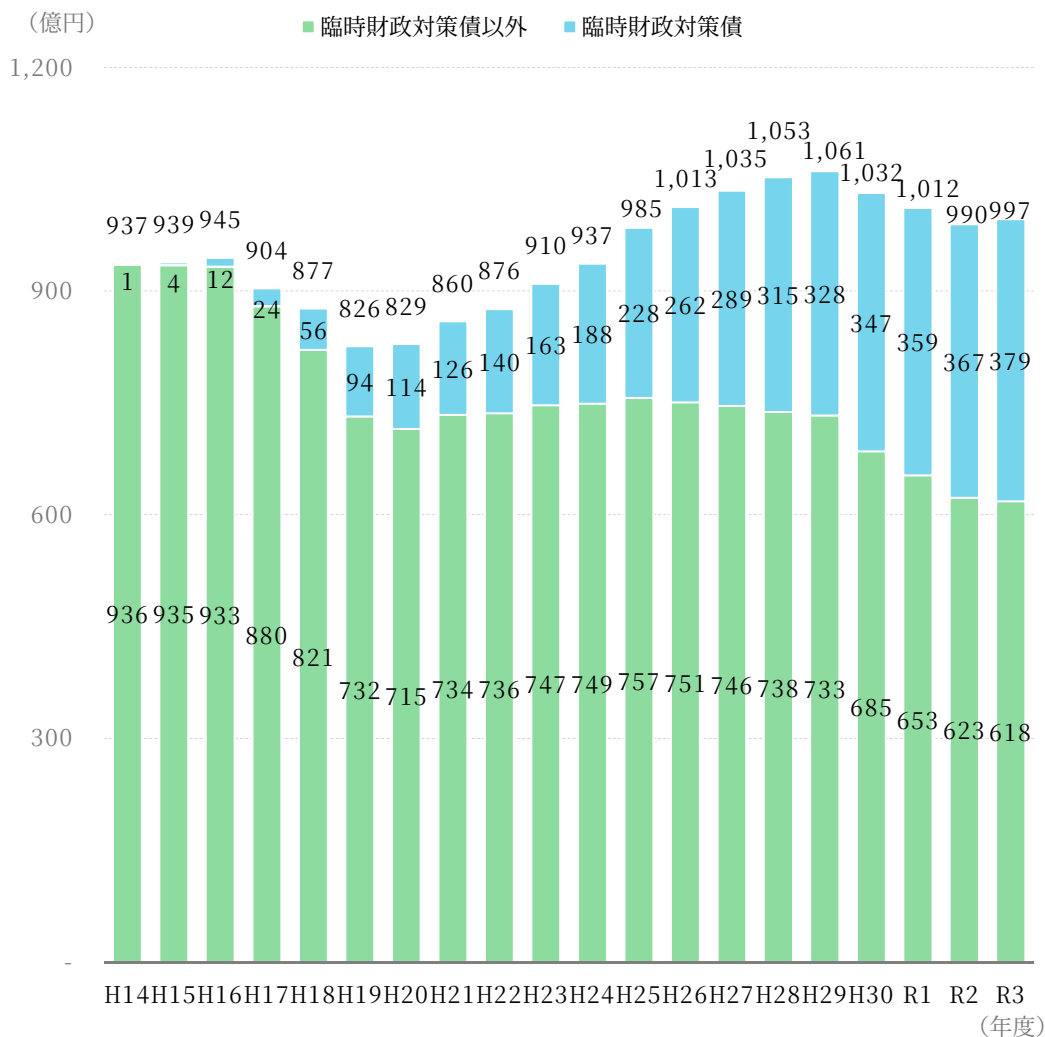
※R2年度まで決算ベース、R3年度は当初予算ベース

公債費及び投資的経費の推移



公債費

臨時財政対策債の償還費が増加する中、超長期債の発行によって償還年限を多様化するなど、戦略的な公債管理を行い、公債費の抑制に向けた取組を実施



※R2年度まで決算ベース、R3年度は当初予算ベース

投資的経費

投資的経費は、防災・減災対策の実施や台風第19号に伴う災害復旧事業などによりR元年度、R2年度は一時的に増加したものの、R3年度は、公共事業等の抑制により大幅に減少



県債新規発行額と残高の推移

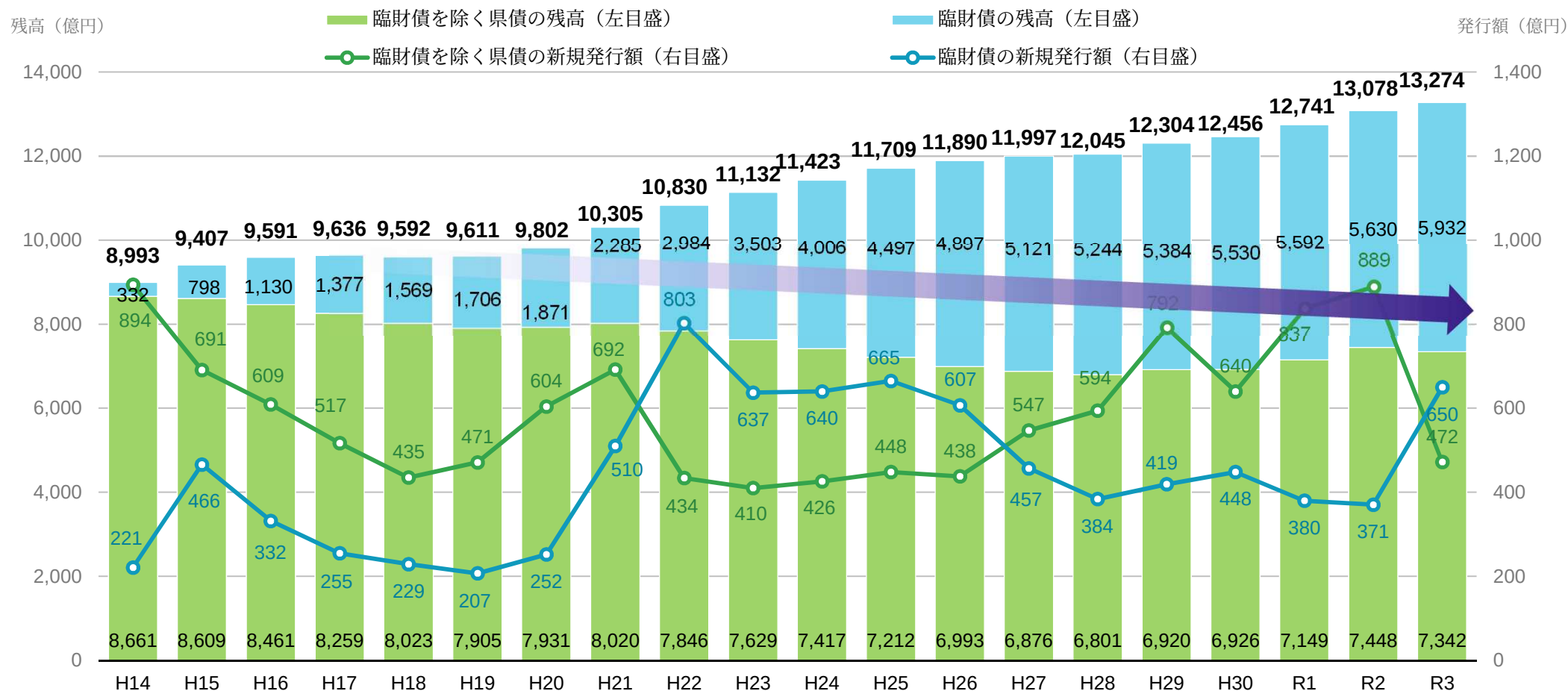


- 実質的な地方交付税である臨時財政対策債の発行により、県債残高は増加

- 臨時財政対策債を除く県債残高は、H14年度をピークに減少傾向

※R元年度、R2年度は、防災・減災対策の実施や台風第19号に伴う災害復旧事業などにより一時的に増加

普通会計ベース



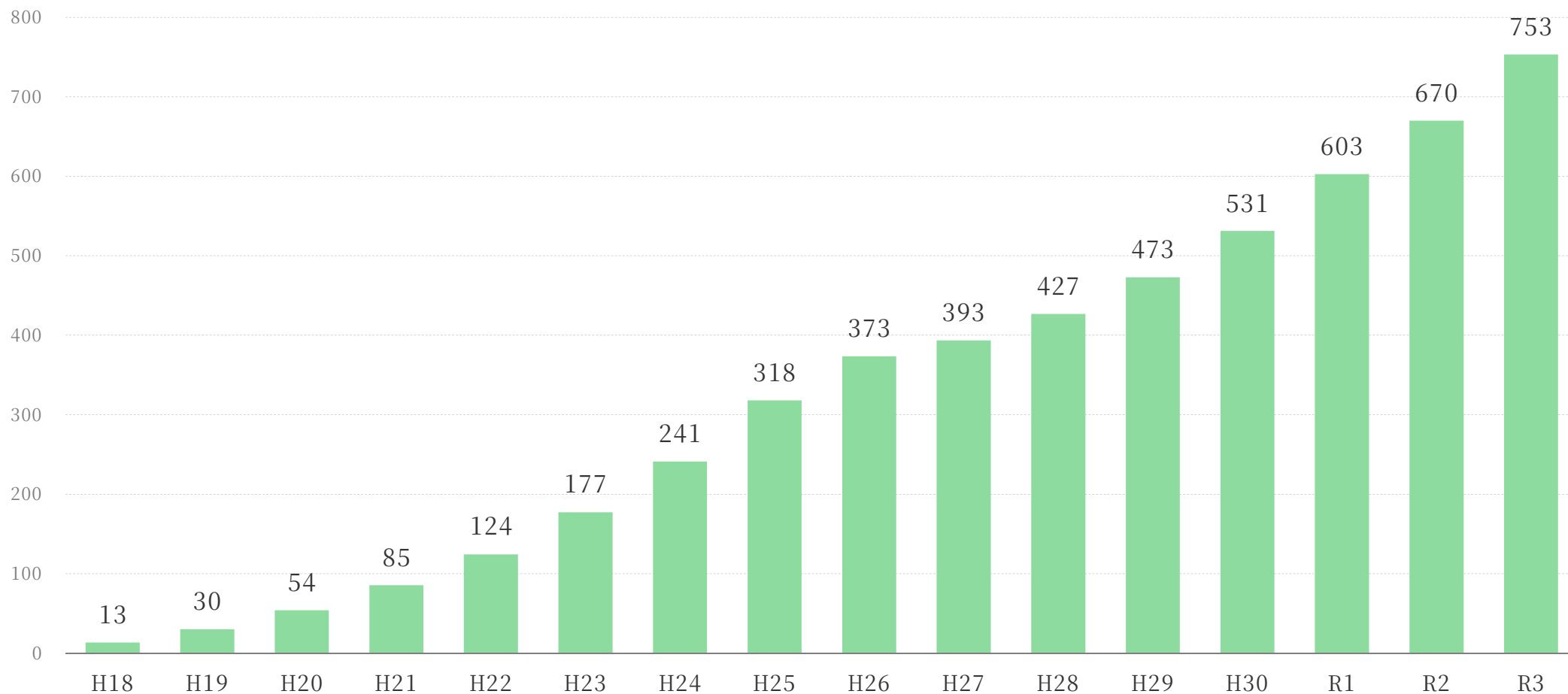
※R2年度まで決算ベース、R3年度は当初予算ベース

減債基金への積立て



- 県債の償還に必要な財源を確保し、将来にわたる財政の健全な運営に資するため、「満期一括償還方式」による債券の償還財源について減債基金にルールどおり積立て

減債基金残高（年度末）の推移



※R2年度まで決算ベース、R3年度は当初予算ベース

行政改革の取り組み



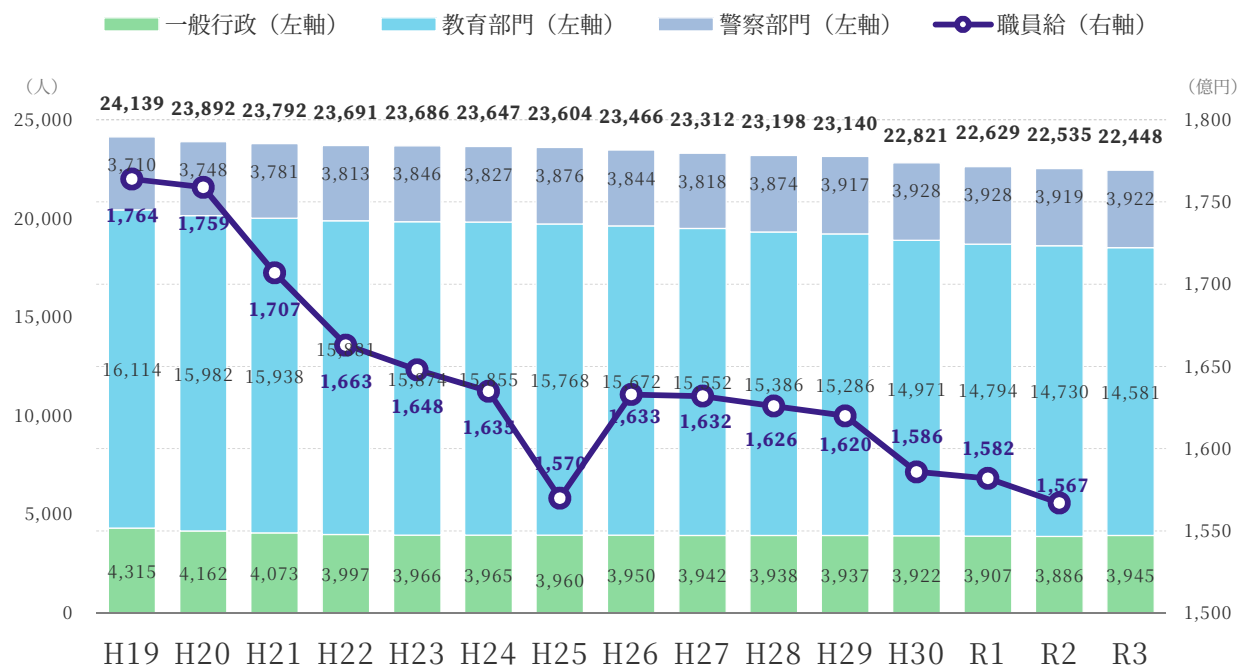
- 人口減少と少子化・高齢化が進む社会において、新たな行政施策にしっかりと対応できる体制をつくるため、「群馬県行政改革大綱」に基づき改革を推進（R元年度の計画実施率 91.7%）

群馬県の人口千人当たりの職員数

一般行政部門職員 **2.04人**（少ない方から数えて全国2位）

※東京都及び政令指定都市のある15道府県を除く（令和2年4月1日現在）

定員削減実績と職員給の推移（普通会計）



「行政改革大綱」の主な成果（H29～R2）

適正な定員管理

- ・一般行政部門 +8人
- ・教育部門 ▲705人

自主財源収入確保

- ・県有施設命名権売却、自動販売機設置収入等
- ・自主財源収入額 64.8億円

未利用財産の売却

- ・売却額 26.8億円

収入未済額圧縮

- ・圧縮額 13.4億円（県税＋税外収入）

内部管理事務の効率化

- ・入札での使用電力調達
- ・電気料金11.2億円削減

群馬県のSDGsの取り組み



- 市町村、企業、大学、NPO、県民等と一体となってSDGsを推進するため、「ぐんまSDGsイニシアティブ」を発信
- 県総合計画へのSDGsの反映、内閣府による「SDGs未来都市」への選定など、SDGsに積極的に取り組む

ぐんまSDGsイニシアティブ～SDGs先進県に向けた決意宣言～（令和元年10月）

- 群馬県は、人口減少・超高齢化など社会的課題の解決と持続可能な地域づくりに向けて、官民連携を進め、SDGsを推進します。

具体的な取組例

SDGsの理念を反映させた「新・群馬県総合計画」の策定 （ビジョン：令和2年12月・基本計画：令和3年3月）

SDGs別

SDGs17のゴール別に政策分野・施策を整理。
【「Goal17」の例示】

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



政策分野	施策	頁	政策分野	施策	頁
文化	・文化振興	7.2	国土整備	・持続可能で効率的なメンテナンス ・多様な移動手段の確保 ・住み続けられるまちづくり ・美しく良好な環境の保全 ・社会資本の整備と維持管理の担い手の確保・育成	8.9
こども	・さまざまな状況に応じて子どもの育ちと若者の自立を支援	7.5	防災・危機管理	・防災・減災	9.0
生活	・市民活動支援	7.6	教育	・地域との連携・協働 ・特別支援教育 ・多様な児童・生徒の居場所となる居場所づくり ・生涯学習・リカレント教育 ・サイバー犯罪対策	9.2 9.3
健康	・健康寿命延伸・フレイル予防	7.7	防犯・交通安全	・被害者支援	9.4
福祉	・支え手の多様化 ・地域包括ケアシステムの深化・推進 ・温室効果ガス排出量「ゼロ」（地球温暖化対策） ・災害時の停電「ゼロ」（ぐんま再生可能エネルギープロジェクト）	7.8	食品衛生	・食の安全・安心 ・動物愛護	9.5
環境	・プラスチックごみ「ゼロ」 ・食品ロス「ゼロ」 ・官民共創による持続可能な公園管理・運営 ・尾瀬、シカ対策、多様な主体の参加	8.0 8.1	国際	・世界と結びつく自治体外交	9.6
森林・林業	・新たな森林の価値の創出	8.3	行政財政改革	・官民共創コミュニティの育成 ・災害などにも対応できる持続可能な財政基盤の構築 ・県庁の情報発信力強化	9.7
産業経済	・官民共創スペース「NETSUGEN」の運営 ・働き方改革・就労支援・人材育成	8.6 8.7			

「SDGs未来都市」の選定（令和3年5月）

SDGsの達成に貢献する優れた取組を行う自治体として、内閣府に選定

ニューノーマルを先導する持続可能で「快疎」な群馬の実現

R3「SDGs未来都市」選定
— 群馬県 —

県庁舎32階官民共創スペース「NETSUGEN」の活用や市町村と連携した「地域未来ビジョン」づくりを通して、群馬の土壌とデジタルを掛け合わせた新たな価値の創出、開疎のニーズへの対応、脱炭素社会づくり等の経済・社会・環境の三側面の課題を官民が連携して解決し、持続可能で求心力のある「快疎」な群馬を目指す。



Section 3.

主な財政指標の状況

- 財政健全化法に基づく各指標は、財政の健全性を維持
- 特に実質公債費比率と将来負担比率は、共に良好な水準を維持しており、市場公募発行団体（都道府県）中でも上位の位置付け



富岡製糸場

明治5年(1872年)に明治政府が日本の近代化のために設立した模範器械製糸場です。

「富岡製糸場と絹産業遺産群」として、周辺に点在する養蚕（ようさん）関連の文化財とあわせて、平成26年6月に世界遺産に登録されました。

財政健全化法に基づく財政指標の推移



● 各指標ともに、財政の健全性において良好な水準を維持

各指標の算定結果

	H30年度	R元年度	R2年度	早期健全化基準
I. 実質赤字比率	該当なし (黒字0.80%)	該当なし (黒字0.94%)	該当なし (黒字3.71%)	3.75%
II. 連結実質赤字比率	該当なし (黒字18.86%)	該当なし (黒字20.46%)	該当なし (黒字22.83%)	8.75%
III. 実質公債費比率	11.2%	10.6%	10.0%	25%
全国順位	第19位	第19位	第19位	
全国平均	10.9%	10.5%	10.2%	
IV. 将来負担比率	162.9%	165.4%	166.6%	400%
全国順位	第13位	第15位	第16位	
全国平均	173.6%	172.9%	171.3%	

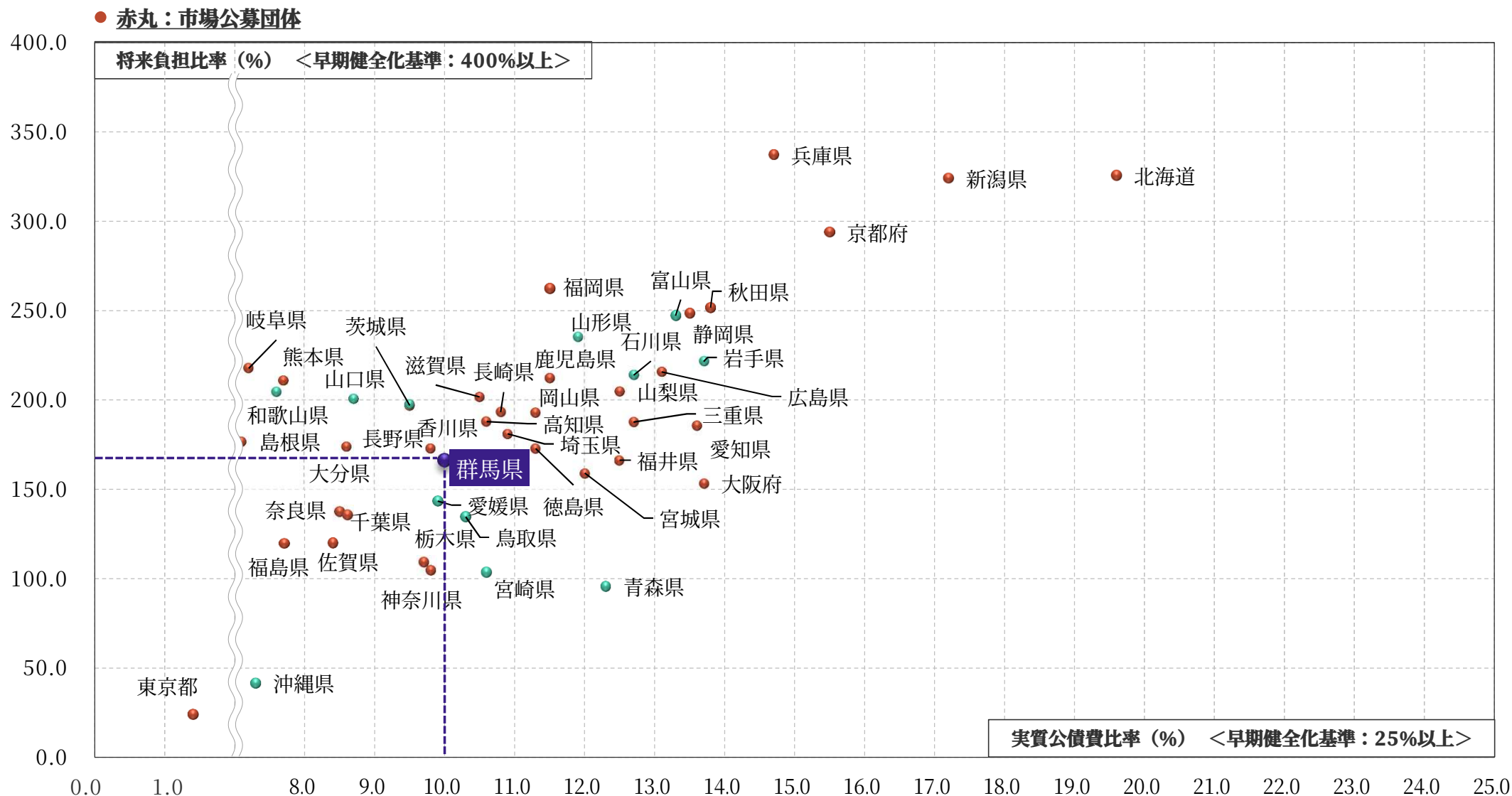
将来負担額の算定結果

項 目	金額 (億円)	算定内容
①地方債の現在高	13,754	満期一括償還分を含む地方債の残高
②債務負担行為に基づく支出予定額	11	土地改良事業負担金等
③公営企業の企業債償還への負担見込	192	流域下水道等
④組合等の借入償還に係る負担見込額	該当なし	
⑤退職手当の支給予定額	1,845	R2年度末に全職員が退職した場合の支給予定額
⑥設立法人の負債等に係る負担見込額	9	
群馬県住宅供給公社	2	
群馬県信用保証協会	7	
A 将来負担額計 (①～⑥の計)	15,811	
B 充当可能基金	859	減債基金、財調基金等
C 充当可能特定財源	113	公営住宅使用料等
D 交付税算入見込額	8,485	
分子 A－(B+C+D)	6,354	

将来負担比率と実質公債費比率（令和2年度決算）



- 現在及び将来に対する財政健全度は、市場公募発行団体（都道府県）中でも上位の位置付け

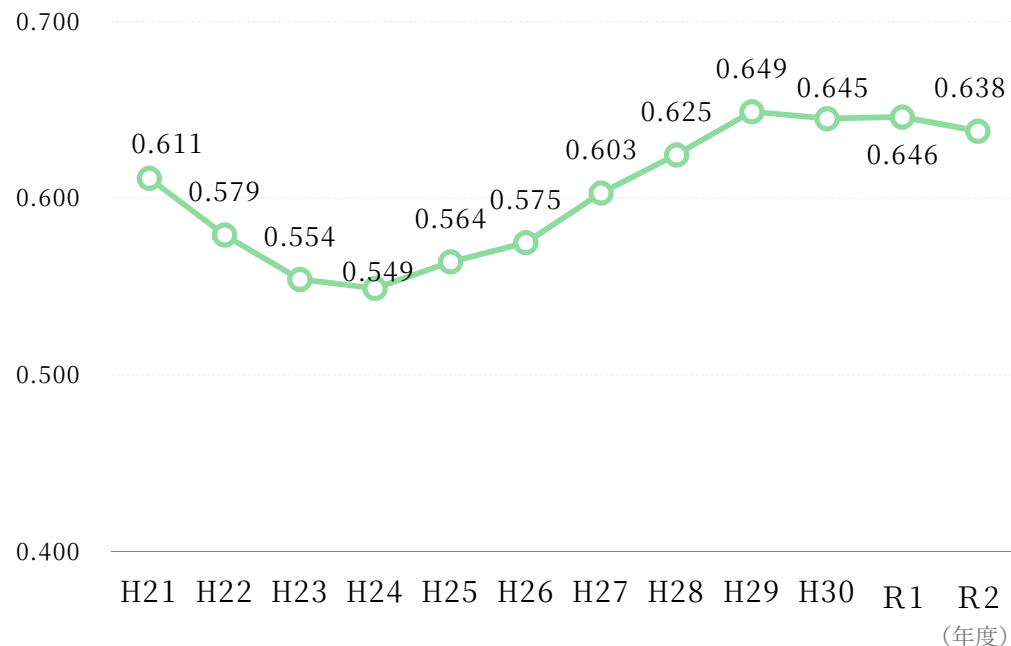


財政指標の推移



財政力指数

財政運営の自主性の大きさを示す指数で、財政運営に必要となる一般財源のうち、自前で調達できる県税がどれくらい確保できるかという割合を理論的に求めたもの。



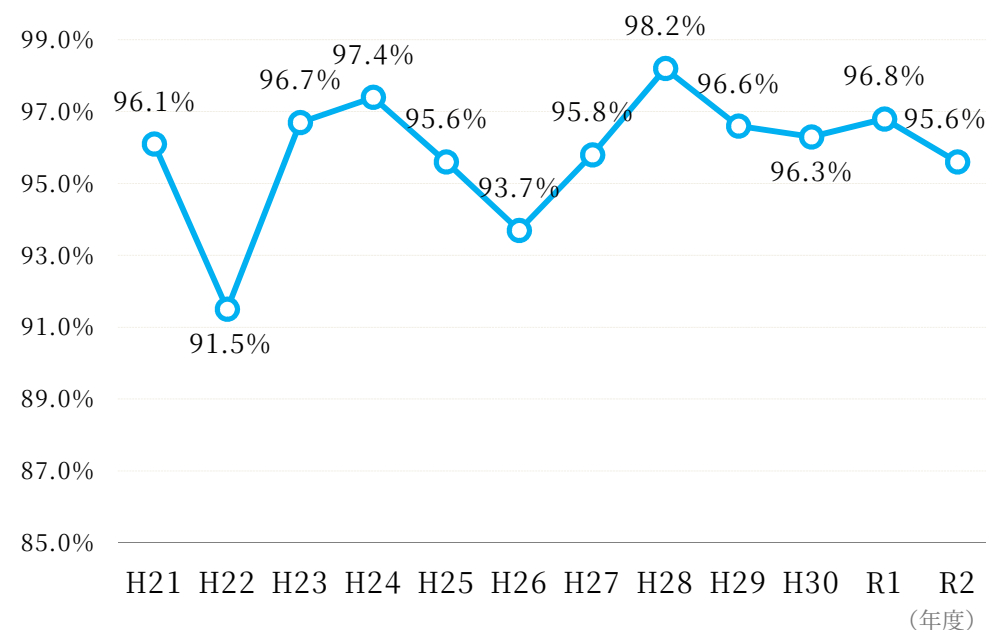
財政力指数

0.638

全国平均 R2 集計中 (R元 : 0.522)

経常収支比率

「財政構造の弾力性」を判断するための指標で、地方税や地方交付税など経常的に収入される一般財源のうち、人件費や公債費などの経常的に支出する経費に充当された額の割合。



経常収支比率

95.6%

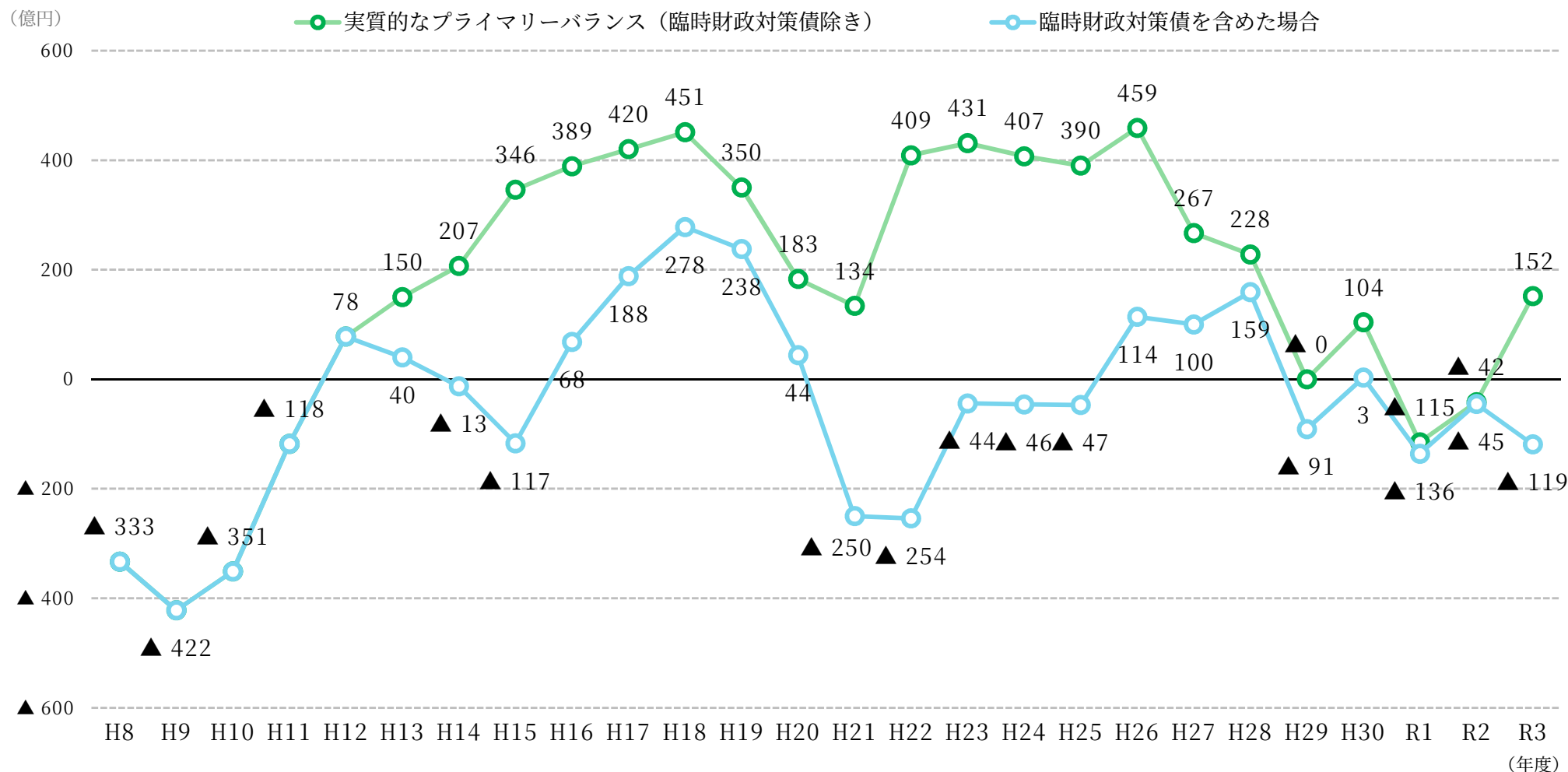
全国平均 R2 集計中 (R元 : 93.2%)

プライマリーバランスの推移（決算ベース）



- R元、R2決算では、実質的なプライマリーバランス（臨時財政対策債除き）は、防災減災対策の集中実施や台風第19号の災害復旧事業などにより、赤字となったが、R3当初予算では防災減災以外の公共事業総額を抑制し、152億円の黒字

一般会計ベース



※R2年度まで決算ベース、R3年年度は当初予算ベース

Section 4.

公営企業・地方公社等について

- 令和2年度決算では、すべての公営企業会計で資金不足はなく、財政健全化法に基づく経営健全化基準値（▲20%）をクリア
- 地方三公社（住宅供給公社、土地開発公社、道路公社）のうち「群馬県住宅供給公社」のみ存在。住宅供給公社の主な業務は、県営住宅管理業務であり、安定した経営



ぐんま県境稜線トレイル

群馬と新潟・長野の県境に位置し、稜線の長さでは国内最長（約100 km）のロングトレイルとなり、新たな観光誘客の目玉として期待されています。

公営企業会計の決算状況



- 全ての会計で資金不足はなく、財政健全化法に基づく経営健全化基準値（▲20%）をクリアしている
- 施設管理事業は、上武ゴルフ場の廃止に伴い特別損失を計上した結果、606百万円の純損失となった
- 病院事業は、患者数の減等により営業収益は減少したものの、新型コロナ患者の受入等に伴う関係補助金等により、営業外収益が増加した結果、12百万円の純利益となった
- 流域下水道事業は、R2年度から公営企業会計を適用し、初めての決算

(百万円)

区分		電気	工業用水道	水道	団地造成	施設管理	病院	流域下水道	合計
損益計算書	営業収益 (A)	7,432	1,584	4,420	1,114	654	23,336	3,372	41,911
	営業費用 (B)	5,977	1,525	3,446	1,237	701	29,373	9,366	51,624
	営業損益 (C=A-B)	1,454	60	974	▲ 123	▲ 47	▲ 6,036	▲ 5,994	▲ 9,712
	営業外収益 (D)	108	300	438	6	4	6,721	6,460	14,038
	営業外費用 (E)	44	130	196	3	0	688	337	1,398
	経常損益 (F=C+D-E)	1,518	230	1,216	▲ 120	▲ 43	▲ 3	129	2,928
	特別利益 (G)	0	5	10	13	16	341	60	446
	特別損失 (H)	0	0	0	9	579	327	66	981
純損益 (I=F+G-H)		1,518	235	1,227	▲ 116	▲ 606	12	123	2,393
貸借対照表	資産の部	74,876	20,264	62,306	30,480	8,197	32,133	130,255	358,511
	固定資産	37,185	18,448	47,156	6,179	7,284	24,328	128,953	269,533
	流動資産	37,691	1,816	15,150	24,301	913	7,805	1,302	88,978
	負債の部	9,009	11,775	18,539	3,042	1,420	29,418	112,245	185,447
	固定負債	5,262	6,648	8,916	1,300	1,165	17,751	16,809	57,851
	流動負債	2,499	737	1,338	1,742	254	6,462	2,212	15,244
	繰延収益	1,248	4,389	8,285	0	1	5,205	93,223	112,353
	資本の部	65,867	8,490	43,767	27,438	6,776	2,716	18,010	173,064
	資本金等	58,461	4,524	35,406	26,679	5,693	10,434	8,891	150,088
	剰余金	7,406	3,965	8,360	759	1,084	▲ 7,718	9,119	22,976
財政健全化法上の資金不足額 (資金収支)		35,312	1,733	14,816	15,142	802	4,268	227	72,300

地方三公社の決算状況（住宅供給公社）



- 本県では、地方三公社（住宅供給公社、土地開発公社、道路公社）のうち「群馬県住宅供給公社」のみ存在
（土地開発公社は平成21年8月末で解散、道路公社はもともと設置していない）
- 群馬県住宅供給公社の主な業務は、県営住宅管理業務（維持管理、家賃収納業務を県から受託）であり、安定した経営を行っている

貸借対照表

（百万円）

区分		H30年度	R元年度	R2年度
資産	流動資産	1,840	2,105	2,063
	固定資産	6,230	6,031	5,922
	繰延資産	—	—	—
	資産合計	8,070	8,136	7,985
負債	流動負債	1,484	1,583	1,472
	固定負債	3,112	3,070	3,031
	特別法上の引当金等	—	—	—
	負債合計	4,596	4,653	4,503
資本	資本金	40	40	40
	剰余金	2,581	2,590	2,589
	法定準備金	853	853	853
	資本合計	3,474	3,483	3,482
負債・資本合計		8,070	8,136	7,985

損益計算書

（百万円）

区分		H30年度	R元年度	R2年度
経常損益	営業収益 (a)	3,057	2,976	3,037
	営業費用 (b)	2,901	2,883	2,947
	一般管理費 (c)	83	90	95
	営業利益 (d=a-b-c)	73	3	▲4
	営業外収益 (e)	46	49	43
	営業外費用 (f)	55	45	41
経常利益 (g=d+e-f)		64	7	▲2
特別損益等	特別利益等 (h)	100	3	0
	特別損失 (i)	99	0	0
当期利益 (j=g+h-i)		65	10	▲2

出資法人の状況



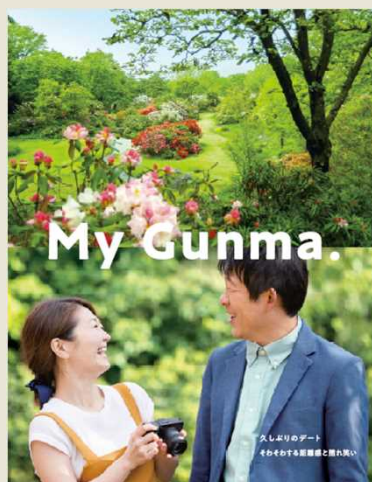
- 県が25%以上出資する公社・事業団等については、解散を含め、そのあり方の見直し等を行った結果、平成20年4月1日現在34団体であったものが、令和3年4月1日現在24団体に減少

主な法人の経営状況（出資金・出えん金が5億円以上など）

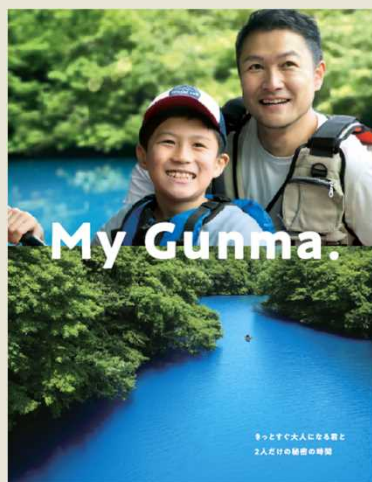
法人名	県出資等 (千円)		当期損益 (千円)		純資産又は 正味財産 (千円)
	県出資額	比率	R元年度	R2年度	
群馬県公立大学法人	1,500,515	100.0%	35,103	32,205	1,617,700
(公財) 群馬県観光物産国際協会	864,000	88.7%	▲8,079	5,347	1,144,324
(公財) 群馬県蚕糸振興協会	662,500	53.9%	▲2,115	74	1,221,936
(公財) 群馬県産業支援機構	613,050	80.3%	13,405	12,543	1,114,809
(一財) 群馬県森林・緑整備基金	580,000	100.0%	45,788	42,610	1,736,863
(公財) 尾瀬保護財団	545,329	35.1%	3,996	▲70,142	1,608,270
(公財) 群馬県暴力追放運動推進センター	512,275	82.1%	▲1,562	▲2,027	648,552
(公財) 群馬県スポーツ協会	502,700	68.7%	1,337	20,751	1,103,730

Section 5.

市場公募債発行計画



赤城自然園
(渋川市)



四万湖
(中之条町)



天空のナイトクルージング
(みなかみ町)



宝徳寺
(桐生市)



草津温泉
(草津町)

令和3年度市場公募債発行計画



令和3年度市場公募債発行計画

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5年債					100 (130)			100					200 (230)
10年債					100 (130)			200					300 (330)
20年債			100										100
20年定償			100										100
合計			200		200 (260)			300					700 (760)

市場公募債発行額の推移



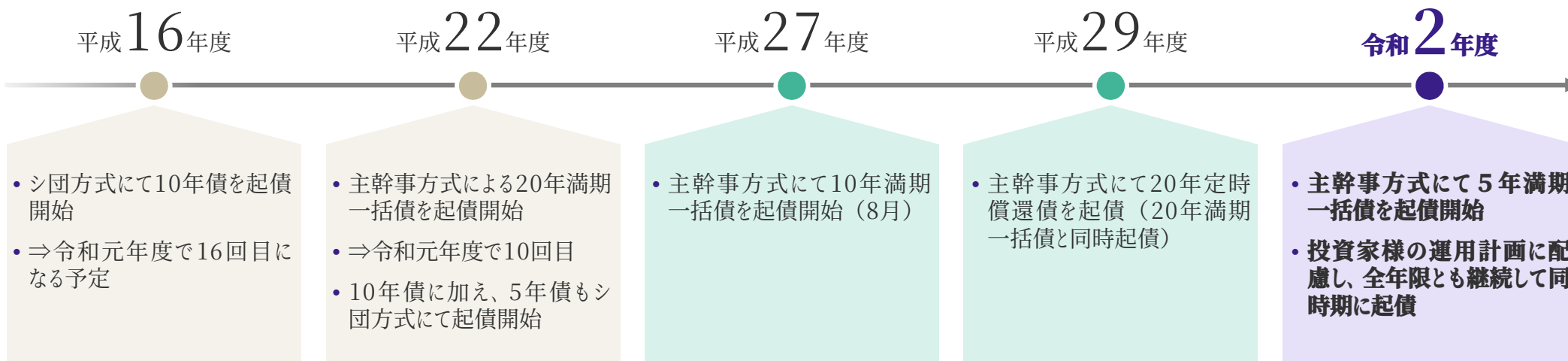
群馬県の起債運営について



- 幅広い投資家の皆様に群馬県債を安心して購入いただくため、主幹事方式での起債を重視しております

主幹事方式による起債のコンセプト

- 低金利環境が長期化する中、投資家の皆様の利回り確保のニーズに応えるため、超長期債として20年満期一括債の発行を継続
※ 平成29年度、令和元年度、令和3年度は、調達額が例年に比べ増加したため、足許需要が拡大している20年定時償還債も発行
- また、10年満期一括債について、大口投資家の皆様のロット確保ニーズに応えられるよう、シ団方式に加え、主幹事方式でも起債
- さらに、令和2年度から5年満期一括債についても、シ団方式に加え主幹事方式でも起債



本件に関するお問い合わせ先

群馬県総務部財政課県債係

〒371-8570 群馬県前橋市大手町1-1-1

TEL 027-226-2096

FAX 027-224-9123

E-mail marketbond@pref.gunma.lg.jp

HPアドレス <http://www.pref.gunma.jp/>

- 本資料は投資家向けに情報提供するものであり、投資に関する売買等の取引を提案、勧誘、助言するものではありません。
- 本資料に掲載している情報は、修正される場合があります。
- 本資料内のデータは、信頼できるとされる各種データに基づき作成しておりますが、正確性、完全性を保証するものではありません。